

県立広島大学教員活動情報

| | | | | |
|-------|------------|---------|----|------------|
| 所属学部等 | 生命環境学部 | 環境科学科 | 専攻 | 生命システム科学専攻 |
| 職氏名 | 教授 | 四方 康行 | | |
| 専門分野 | 地域環境マネジメント | 生物資源管理学 | | |

1. 教育活動 (平成19年度)

| | | | | |
|-----------------|-------------|--------------|----------|---------|
| (1)担当科目(学部) | 環境会計学 | 環境フィールドワーク実習 | 農村社会学 | 農業経営計画論 |
| | 農業立地論 | 地域環境計画論 | 地域計画論演習 | 卒業論文 |
| (大学院) | 卒業論文 | | | |
| | 地域環境マネジメント学 | 大学院特別講義 | 学際教育研究特論 | |
| (2)教育関係 特記事項 | | | | |

2. 研究活動 (平成17～19年度)

| | | |
|-----------------|--|----------|
| (1)論文等 | 四方康行「ドイツにおける食肉及び食肉製品の消費ならびに副産物の利用に関する調査」『畜産副産物研究』第11号, pp.25-34, 日本畜産副産物研究会 | 平成17年7月 |
| | 四方康行・皆田潔・今井辰也「EUにおける直接支払いと農業環境政策 とくにドイツを中心に」『2005年度日本農業経済学会論文集』pp.451-458, 日本農業経済学会 | 平成18年3月 |
| | 四方康行・皆田潔・今井辰也「ドイツにおける直接支払いと農業環境政策」『広島県立大学紀要』第17巻第2号, pp.75-86 | 平成18年2月 |
| | 四方康行・今井辰也「農業におけるEMSと環境会計導入の意義と課題」『農業経営研究』第45巻第1号, pp.67-72, 日本農業経営学会 | 平成19年6月 |
| | 四方康行「生活協同組合における環境保全活動と環境報告」『第3回生協総研賞 研究奨励事業研究論文集』生協総合研究所, pp.39-51 | 平成18年9月 |
| (2)著書 | 四方康行編著『中山間地域の発展戦略』はしがき(6頁)あとがき(1頁)「野生鳥獣被害対策とその資源利用による地域活性化 とくに中国地域におけるイノシシの資源利用を中心に」pp.158-174, ISBN 978-4-541-03551-6 (17頁)農林統計協会 | 平成20年3月 |
| | 四方康行「環境を創る農業」『農が拓く東アジア共同体』(進藤栄一ほか編著)日本経済評論社, pp.277-28, ISBN 978-4-8188-1963-4 | 平成19年11月 |
| | 四方康行「GPセンター」「SPF豚」等25項目用語解説『農業経営学術用語辞典』日本農業経営学会編, 農林統計協会, ISBN978-4-541-03387-1 | 平成19年11月 |
| (3)学会発表等 | 四方康行・皆田潔・今井辰也「EUにおける直接支払いと農業環境政策 とくにドイツを中心に」2005年度日本農業経済学会大会 札幌市 | 平成17年7月 |
| | 四方康行・今井辰也「農業におけるEMSと環境会計の導入の意義と課題」平成18年度日本農業経営学会大会 鹿児島市 | 平成18年10月 |
| | 四方康行・今井辰也・鄒 金蘭「いのししの資源化による地域活性化」第57回地域農林経済学会大会 金沢市 | 平成19年10月 |
| (4)工業所有権等 | | |
| (5)外部資金採択状況 | 科学研究費補助金(代表) | 1件 |
| | 科学研究費補助金(分担) | 件 |
| | その他外部資金 | 8件 |
| (6)研究関係 特記事項 | | |

3. 地域貢献活動 (平成19年度)

| | | | |
|-----------------|--|-----------|------------|
| (1)審議会等委員 | | | |
| (2)公開講座等 | 生物資源管理学科公開卒業発表会: 学科主任として、企画及び主催者挨拶 | JA庄原本館 | 2008年2月28日 |
| | シンポジウム「中山間地域の発展戦略」: 企画及び主催者報告 (「中山間地域の発展戦略」の内容) | 庄原グランドホテル | 2008年3月22日 |
| (3)地域貢献 特記事項 | 生物資源管理学科公開卒業発表会を学科主任として、企画し、JA庄原の会場で行った。地元の住民、関係者の多くの参加があった(庄原産官学連携センターとの共催)。シンポジウム「中山間地域の発展戦略」を企画し庄原グランドホテルで行った。主催者報告(「中山間地域の発展戦略」の内容)を行った。多くの地域住民、関係者、卒業生、在学生の参加があった。これは、生物資源学部生物資源管理学科教員を中心としたもので、そのあと、地元住民、関係者と学科学生、卒業生、教員の交流・親睦を行った。これは研究著書「中山間地域の発展戦略」を出版したのを機に開催したものであるが、同時に、学科の歩みとしての記念誌「生物資源管理学科の歩み」を編纂・発行した。貴重な資料集としての価値もあり、同窓会の発展と地域貢献につながった。 | | |

4. 大学運営活動 (平成19年度)

| | | |
|-----------------|---------------------------|------------|
| (1)学内委員等 | 広島県立大学生物資源管理学科主任 | 大学院教務委員 |
| | 高等教育推進委員 | 生命環境学部教務委員 |
| | 生命環境学部研究・教育業績検討委員 | 調整会議委員 |
| (2)大学運営 特記事項 | 教務委員など、頻繁に行われ且つ重要な委員を務めた。 | |

以上は、主要な活動について掲載しています。